

2022年 年頭にあたって

2022.01

立命館大学技術士会
会長 土屋 光弘

新年あけましておめでとうございます。

今年は、正月早々面白い自然現象に気づきました。年末に夜空に輝いていた上弦の月が、年始に下弦の月になったのです。よく考えてみると当たり前のことなのですが、一日で180度ダイナミックに月の上下が逆転する現象はとても新鮮で、新たな年を迎えたことの象徴のように感じました。2022年が立命館大学技術士会の会員のみなさまにとって、健康で幸せな年となりますよう、心から祈念申し上げます。

私は月を観るのが好きで、大好きなのは満月。仕事帰りに「あともう少しで真ん丸になるな」などと月を観ながら帰路を急ぐことはよくあるのですが、年末年始の三日月の逆転現象はちょっと感動的でした。きっと宇宙ではドップラー現象のような光や電磁波の干渉が起こっているのだろうか・・・などと思いをはせ、幸せな一時を過ごしました。

三日月と言えばトルコ国旗。あの国旗の星は月の円周の中に入っているとしたら自然現象的におかしいなと思い検索してみると・・・しっかり月の円の外側に配置してありました。さすがトルコ共和国！ちなみに星は水星だということです。月と星の組み合わせの国旗はイスラム圏に多いようで、パキスタンやチュニジアの国旗も似ていることが解りました。

さて、三日月も日々太ってきました。今年も年13回の月の満ち引きとともに時が過ぎていきます。当技術士会では現在、2015年に発刊した電子書籍「土木、この不思議な世界」に続く2冊目の本「土木技術者が語る未来～今、伝えておきたい技術者の心～」の校正作業が進められており、まもなく出版予定です。また3月からは技術士受験講習を開催、6月には総会と講演会、11月頃には交流懇親会と年間行事が計画されています。

コロナ禍で、多人数で集う会の開催ができないことも想定しますが、当会のHPは担当幹事の活躍で頻繁に更新しています。ぜひ時々覗いてみてください。そして会員相互のon,offの交流を深めていただければ幸いです。本年もよろしく願い申し上げます。